

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15三省堂	英語 703	NEW CROWN English Series 1		

1. 編修の基本方針

① 理念・目標

本書の編修にあたっては、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を、それぞれの学校段階に応じて育成することを教育理念とし、それを実現するための目標として、4つの力を育成することを目指しました。

1 ことばを使う力を育てる

ことばを使って理解し、表現し、伝え合いながら、実際のコミュニケーションで活用できる確かな英語力を育成します。

2 他(人や文化)とかかわる力を育てる

さまざまな人や文化などに触れながら、社会の多様性を理解しかかわっていく力と、豊かな心を育成します。

3 考える力を育てる

さまざまな活動を通して、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図る力と、論理的・批判的に考える力を育成します。

4 学びに向かう力を育てる

多様な学び方を体験しながら、学ぶことを楽しむ心と、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。

② 編修方針

教育基本法に掲げる目標を達成するために、5つの基本方針に基づいて編修しました。

1 小学校での学びを生かして、中学校での学びにスムーズに接続する

小学校英語の教科化に伴う小学校での体験をふまえ、円滑に中学校での学びへとつなぐレッスン構成

2 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を育成する

言語材料を身につける GET と、それらを活用して言語活動に取り組む USE を配置したレッスン構成

3 5領域のバランスに配慮し、対話的な学びや深い学びを引き出す言語活動を充実させる

小学校英語の教科化と、中学校英語で取り扱う言語材料の増加に対応し、高度化された言語活動

4 生徒の知的欲求にこたえる題材、人間教育に資する題材を選定する

生徒の知的好奇心や興味・関心、発達段階に合った題材やテーマ、多様な文化などに触れる題材

5 生徒の主体的な学びを支援し、学びに向かう力を育てる資料の充実をはかる

自律的な学習をサポートする資料やQRコード、CAN-DOリストなどを配置

構成と内容 1年

Project 1

理想のロボットを発表しよう

理想のロボットができることなどを考え、発表する。

Project 2

英語のタウンガイドを作ろう

自分たちの町の魅力を発信するタウンガイドを作る。

Project 3

大切なものを紹介しよう

絵や写真を見せながら、自分が大切にしているものを発表する。

2年へ

Lesson 1

Lesson 2

Lesson 3

Lesson 4

Lesson 5

Lesson 6

Lesson 7

Lesson 8

(中学校での学びへの接続)

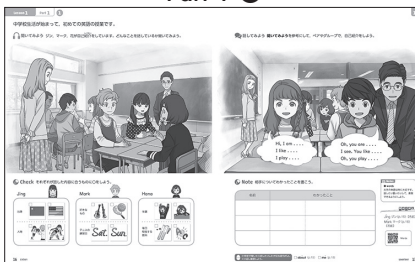
小学校から

1 小中の学びをスムーズに接続するレッスン構成

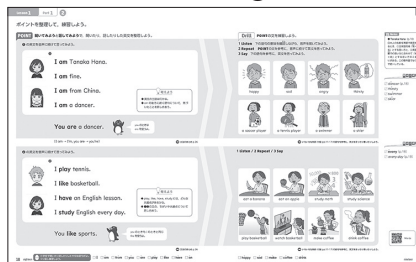
[Lesson 1~3]

例 Lesson 1

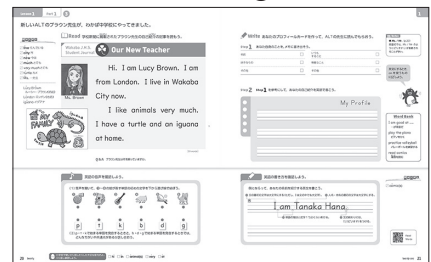
Part 1 ①



Part 1 ②



Part 1 ③



聞いてみよう・話してみよう

聞いてみようでは、小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞いて、これまでの学びをふり返ります。

話してみようでは、聞いてみようでふり返ったことをふまえて、ペアやグループで対話したり発表したりします。

POINT・Drill

POINTでは、Part 1 ①で聞いたり話したりした英文を取り出し、文字で確認しながら、文法事項や文構造を整理します。

Drillでは、POINTの文を活用して、音声で聞いたり、音声に続けてくり返したり、絵と語句を参考に英文を言ったりして練習します。

Read・Write

Readでは、Part 1 ②で整理したPOINTの文と新しい語句を含む、まとまりのある初見の英文を読みます。

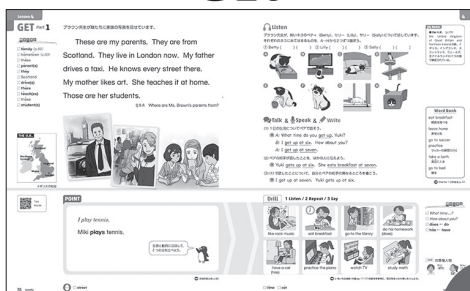
Writeでは、POINTの文を短い文脈の中で活用し、まとまりのある英文を書きます。

2 習得から活用へとつながるレッスン構成と言語活動

[Lesson 4~8]

例 Lesson 4

GET



USE



USE Read

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある英文の概要や要点を捉える力を養います。

GETでは、文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につけます。

USE Speak / Write

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある内容を話したり書いたりする力を養います。

3 充実した言語活動

Take Action! Listen

現実の使用場面に近い英文を聞き、目的や場面、状況に応じて、必要な情報や概要、要点を捉える力を養います。

Take Action! Talk

言語の使用場面や働きを整理し、目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合う力を養います。

Sounds (Listen, Talk ページ下)

つづりと音の関係、韻律や音変化など、英語の音声について、発見型アプローチで学びます。

Reading for Fun

世界中で読まれている文学作品を、登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読みます。

Reading for Information

現実の使用場面に近い英文を読み、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を読み取る力を養います。

Project

領域統合型の活動を3回設定。それまでに培った知識と技能を活用して、表現したり伝え合ったりする力を養います。

GET Plus

提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。

文法のみまとめ

学んだ文法事項をまとめてふり返ったり、関連する文法事項を横断的に整理したりします。

[付録] What Can I Do?

1年間の学習を通して、どんなことができるようになったかを自己評価し、学習をふり返ります。

4 題材

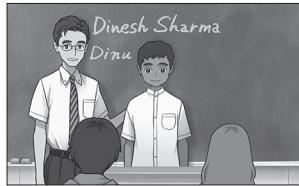
ことばを使う ことは思いを伝えること

Lesson 1



About Me

Lesson 3



Our New Friend

かかわる ことは違いを認め合うこと

Lesson 2



English Camp

Lesson 6



Discover Japan

考える ことは自分と向き合うこと

Lesson 7



Wheelchair Basketball

Lesson 8



Green Festival

学ぶ ことは自分の可能性を広げること

Lesson 4



My Family, My Hometown

Lesson 5



School Life in the U.S.A.

5 自律的な学習を支援する資料の充実

For Self-study

辞書の活用など、英語学習の参考になる情報を提供します。

ロールプレイスーツ

Take Action! Talk に対応したロールプレイの指示書。指示にしたがってペアで即興のやり取りする活動を行います。

いろいろな単語

言語活動で使える語句・表現を、カテゴリーごとに提示しています。

スクリプト

Take Action! Listen の音声のスクリプト。文字を見ながら、音声をくり返し聞いて復習します。

QRコード

本文テキスト、語句・表現、話すこと[やり取り/発表]の活動のモデル英文などの音声や動画を提供します。



Text
Words

2. 対照表

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所（1年）
題材	①取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択しました。（第1号）	Lesson 5 School Life in the U.S.A. Lesson 7 Wheelchair Basketball
	②物語では、生徒の感性に訴える作品を配置しました。（第1号）	Reading for Fun Alice and Humpty Dumpty
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱いました。（第2号）	Lesson 1 About Me Lesson 7 Wheelchair Basketball
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱いました。（第3号）	Lesson 2 English Camp Lesson 4 My Family, My Hometown
	⑤自然科学、環境を扱いました。（第4号）	Lesson 8 Green Festival
	⑥日本の伝統文化、および他国の文化を扱いました。（第5号）	Lesson 3 Our New Friend Lesson 4 My Family, My Hometown Lesson 6 Discover Japan Further Reading Enjoy Sushi
言語活動	①各課の言語活動においては、取り組む生徒の個性・創造性・自主性が発揮されるように配慮しました。（第2号）	USE Write (pp.104-105) 思い出を絵日記に書こう Project 3 (pp.142-143) 大切なものを紹介しよう
	②言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱いました。（第2号、第4号、第5号）	Project 1 (pp.66-67) 理想のロボットを発表しよう USE Speak (pp.120-121) 偉人を紹介しよう USE Write (pp.134-135) マニフェストを書こう
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮しました。（第3号）	USE Write (pp.90-91) 学校生活や行事を紹介するメールを書こう Project 2 (pp.110-111) 英語のタウンガイドを作ろう GET Plus p. 34, 46, 80, 94, 124, 138 Take Action! Talk p. 63, 79, 93, 107, 123, 137 付録 pp.33-34 ロールプレイシート
付録	生徒の自律的な学びを支える付録を配置しました。（第2号）	For Self-study （英和辞書の使い方など） QRコード （本文テキスト、新出語句） 付録 （付録 pp.2-36、後①） 英語の歌、つづりと発音、基本本文のまとめ、ローマ字表【ヘボン式】、英語の筆記体、いろいろな単語、英語の手紙を書こう、単語の意味、会話表現、ロールプレイシート、スクリプト、What Can I Do?
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。（第3号、第5号）	全課を通して登場するメインキャラクター、それぞれの活動の登場人物
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒にわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。（第2号）	レッスンとびら、レッスン構成（GET→USE）、文法のまとめ、For Self-study（p.14, 68）、What Can I Do?（後①）

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

◎ カラーユニバーサルデザインへの配慮

- ▶ カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。

◎ 特別支援教育への配慮

- ▶ 特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な生徒への配慮と対応をしています。

◎ 学習上の配慮

- ▶ 基本的に見開き構成とし、学習する内容が一目でわかるようにしました。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、学習に集中できるように配慮しました。
- ▶ 教科書に登場する人物は、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。
- ▶ 音声を用いて自律的に学習できるよう、音声を提供する QR コードを配置しました。
- ▶ 1 年前半の書くためのモデルとなる英文には、オリジナルの手書きフォントを使用しました。また、それ以外の部分でも、ユニバーサルデザインフォントやオリジナルのブロック体フォントを使用し、視認性や可読性が高まるよう配慮しました。

②環境にやさしい教科書づくり

- ▶ 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- ▶ インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

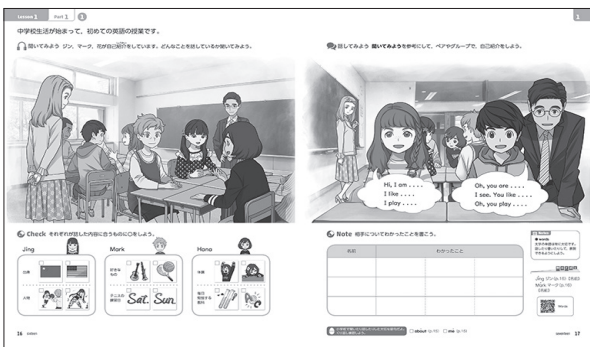
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 703	NEW CROWN English Series 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 小学校での学びを復習しながら、円滑に中学校での学びにつなげられるようにしました。
(1年 Lesson 1~3)

例 Lesson 1 Part 1 ①

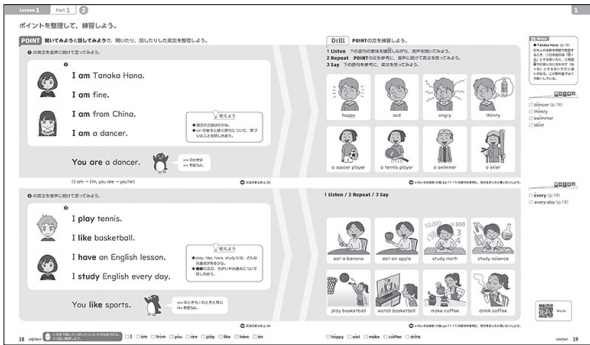


聞いてみよう・話してみよう

「聞いてみよう」では、小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞いて、これまでの学びをふり返ります。

「話してみよう」では、「聞いてみよう」でふり返ったことをふまえて、ペアやグループで対話したり発表したりします。

Part 1 ②



POINT・Drill

POINT では、Part 1 ①で聞いたり話したりした英文を取り出し、文字で確認しながら、文法事項や文構造を整理します。

Drill では、POINT の文を活用して、音声を聞いたり、音声につけてくり返したり、絵と語句を参考に英文を言ったりして練習します。

Part 1 ③

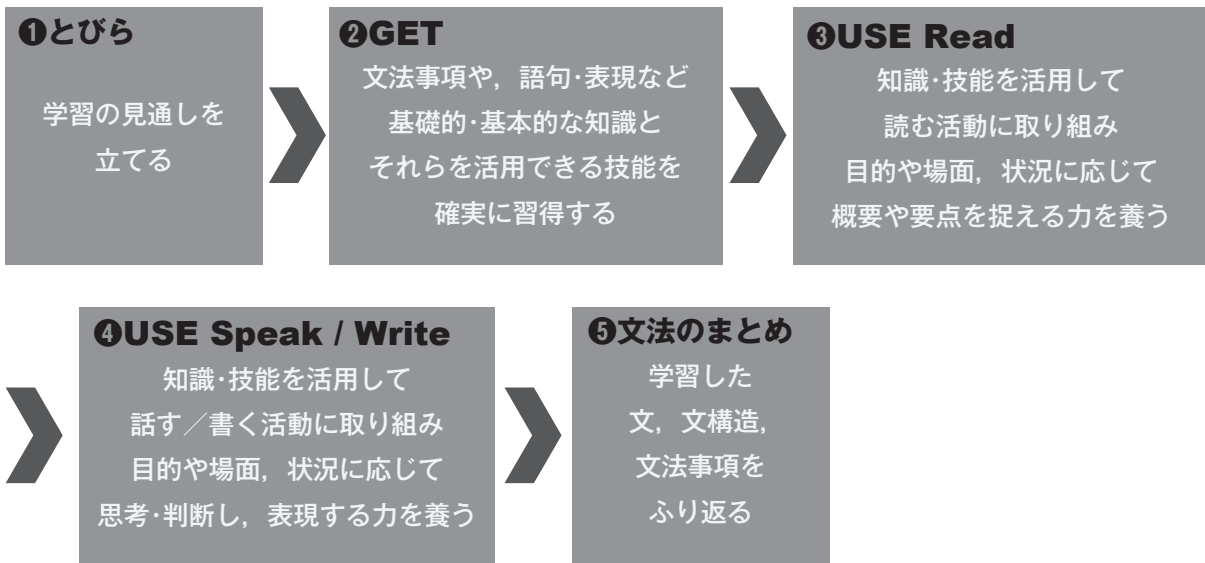


Read・Write

Read では、Part 1 ②で整理した POINT の文と新しい語句を含む、まとまりのある初見の英文を読みます。

Write では、Part 1 ②で整理した POINT の文を短い文脈の中で活用し、まとまりのある英文を書きます。

2 学びのプロセスを「見える化」し、学習の流れがわかりやすいレッスン構成にしました。



3 基礎的・基本的な知識・技能を習得するページを適切に配置・配列しました。

聞く・読む・話す[やり取り]・話す[発表]・書く

GET

文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につけます。

GET Plus

提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。

文法のまとめ

学んだ文法事項をまとめてふり返ったり、関連する文法事項を横断的に整理したりします。

4 5領域のバランスに配慮し、思考力・判断力・表現力を養う言語活動を充実させました。

Take Action! Listen **聞く**

現実の使用場面に近い音声を聞いて、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を聞き取ったり、音声の概要や要点を捉えたりする力を養います。

USE Read **読む**

既習の文法事項を活用して、さまざまなジャンル／テキストタイプの英文を読み、目的や場面、状況に応じて、英文の概要や要点を捉える力を養います。

Reading for Information **読む**

現実の使用場面に近い英文を読んで、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を読み取る力を養います。

Take Action! Talk **話す[やり取り]**

言語の使用場面や働きを整理し、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合う力を養います。

USE Speak **話す[発表]**

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理し、即興で話したり、まとまりのある内容を話したりする力を養います。

USE Write **書く**

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、正確に書いたり、自分の考えや気持ちなどを整理してまとまりのある内容を書いたりする力を養います。

Project **領域統合(聞く・読む・話す・書く)**

領域統合型の活動を通して、目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合ったり、自分の考えや気持ちなどを整理して話したり、書いたりする力を養います。
聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを述べ合ったり、話したり、書いたりする力を養います。

2. 対照表（配置や配列、配当時数の詳細は、別記カリキュラム表参照）

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容
音声・文字	<ul style="list-style-type: none"> ○Take Action! Listen / Talk <ul style="list-style-type: none"> ▶Sounds 英語のつづり・英語らしい音：単音レベルの発音とつづりの関係を考える活動です。 ▶Sounds 英語のひびき：韻律や音変化など、滑らかでリズムカルな音を意識させる活動です。 ○付録 Sounds つづりと発音：発音とつづりの関係を表にまとめてあります。 <p>※小学校で学んだ音声は、1年（Lesson 1～3の♪の部分）で復習として取り扱っています。 ※小学校で学んだ文字は、1年（Starter及びLesson 1～3）で復習として取り扱っています。</p>	(1) ア (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
符号	<p>主な符号は英文内で適切に取り扱い、初出箇所では側注 Notes に解説を加えています。 ※小学校で学んだ符号は、英文内で適切に取り扱っています。</p>	(1) イ
語、連語及び慣用表現	<ul style="list-style-type: none"> ○全課 Words：本文中に出てくる、中学校で新出の語句・表現を提示しています。 ○Starter(1年)：小学校で学んだ語句・表現を使って、聞いたり、話したりします。 ○Lesson <ul style="list-style-type: none"> ▶Drill：POINTの文法事項などを使って、ドリル練習をするための語句を提示しています。 ▶Word Bank：POINTの文法事項などを使って、Talk / Speak / Writeの短い文脈の中で話したり、書いたりする練習をするときに使える語句・表現を提示しています。 ○GET Plus <ul style="list-style-type: none"> ▶Word Bank：Exerciseの話す活動をするときに、使える語句・表現を提示しています。 ○Take Action! Listen / Talk <ul style="list-style-type: none"> ▶Expressions：聞いたり話したりするときのポイントになる語句・表現を提示しています。 ○付録 いろいろな単語、会話表現：いろいろな活動の中で使える語句・表現をカテゴリーで分けて提示しています。 ○付録 単語の意味：本課中に出てきた語句・表現を、辞書の要領でまとめて提示しています。 <p>※小学校で学んだ語句・表現は、英文内で適切に取り扱っています。 ※小学校で学んだ語は1年付録「いろいろな単語」に☆印をつけて示しています。また、特に大切なものは、英文内で取り扱い脚注に示しています。</p>	(1) ウ (ウ)(イ)(ウ)
文、文構造及び文法事項	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson POINT：各レッスンに配当された文法事項を含むターゲット文を提示しています。 ○文法のまとめ：各レッスンで学んだ文法事項などをわかりやすく解説しています。また、関連する文法事項を横断的に整理するコーナーを配置しています。 ○GET Plus Dialog：会話の場面とよく使われる表現を併せて提示しています。 ○付録 基本文のまとめ：本課中に出てきたPOINT文などをまとめて提示しています。 <p>※小学校で体験した文及び文構造のうち特に大切なものは、1年Lesson 1～3でていねいに取り扱っています。また、それ以外のものは、英文内で適切に取り扱っています。</p>	(1) エ (ア)(イ)(ウ)
言語活動① (聞く・読む)	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson USE Read：既習の文法事項を活用して、現実の使用場面に近い英文を読み、目的や場面、状況に応じて、概要や要点を捉える活動です。 ○Take Action! Listen：現実の使用場面に近い英文を聞き、目的や場面、状況に応じて、必要な情報を聞き取ったり、概要や要点を捉えたりする活動です。 ○Reading for Fun：物語の登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読む文学教材です。 ○Reading for Information：現実の使用場面に近い英文を読み、必要な情報を読み取る活動です。 ○付録 Further Reading：補充・発展的な読む活動などに選んで使える教材です。 	(2) ア
言語活動② (話す・書く)	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson <ul style="list-style-type: none"> ▶USE Speak：目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して話す活動です。 ▶USE Write：目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して書く活動です。 ○Take Action! Talk：目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合う活動です。 	(2) ウ
言語活動③ (領域統合型)	<ul style="list-style-type: none"> ○Project：領域統合的に、話したことを参考に書いたり、書いたことをもとに発表したりする活動と、聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考えなどを整理して、話したり書いたりする活動です。 	(2) イ

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容
聞くこと	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶聞いてみよう (1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>▶GET Listen：日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>○Take Action! Listen：日常的または社会的な話題について、現実に近い場面で話される英文を聞く活動。</p> <p>テキストタイプ：商品の説明、競技会場のアナウンス、映画の紹介、ボイスメッセージ、インタビュー、天気予報など</p> <p>○付録 スクリプト：Take Action! Listen の音声スクリプト。</p>	(3) ① ア イ (7)(1)(ウ)(エ)
読むこと	<p>○Starter(2,3年)：既習の文法事項を活用して、日常的または社会的な話題について書かれた、現実の使用場面に近い英文を読む活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶Read (1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を読む活動。</p> <p>▶GET 本文：日常的または社会的な話題についての短い英文を読む活動。</p> <p>▶USE Read：既習の文法事項を活用して、日常的または社会的な話題について書かれた、現実の使用場面に近い英文を読む活動。</p> <p>ジャンル：説明文、意見文、物語文 テキストタイプ：新聞記事、メール、ブログ記事、雑誌記事、パンフレットの記事など</p>	(3) ① ア ウ (7)(1)(ウ)(エ)
話すこと [やり取り]	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って伝え合う活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶話してみよう (1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って伝え合う活動。</p> <p>▶GET Talk：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って伝え合う活動。</p> <p>○Project：聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを伝え合う活動。</p> <p>○GET Plus Dialog：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って伝え合う活動。</p> <p>○Take Action! Talk：提示された場面で、即興で伝え合う活動。</p> <p>テキストタイプ：チャット、目的を達成するためのやり取り、日常会話での簡単な話し合い</p> <p>○付録 ロールプレイシート：提示された場面で、即興で伝え合う活動。</p>	(3) ① ア エ (7)(1)(ウ)
話すこと [発表]	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って話す活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶話してみよう (1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って話す活動。</p> <p>▶GET Speak：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って話す活動。</p> <p>▶USE Speak：既習の文法事項を活用して、簡単な語句や文を使って、日常的または社会的な話題について、まとまりのある内容を話す活動。</p> <p>テキストタイプ：サイコロトーク、スピーチ、プレゼンテーションなど</p> <p>○Project：聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを話す活動。</p>	(3) ① ア オ (7)(1)(ウ)
書くこと	<p>○Lesson</p> <p>▶Write (1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って書く活動。</p> <p>▶GET Write：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って書く活動。</p> <p>▶USE Write：既習の文法事項を活用して、簡単な語句や文を使って、日常的または社会的な話題について、まとまりのある文章を書く活動。</p> <p>テキストタイプ：申込書、メール、絵日記、マニフェストなど</p> <p>○Project：日常的または社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを書く活動。</p>	(3) ① ア カ (7)(1)(ウ)(エ)
題材・場面	<p>○Lesson：はじめての英語の授業、課外活動 English Camp、インドからの転校生、ALTの家族と故郷のイギリス、アメリカの中学生の生活、日本各地への旅行のブログ、車いすバスケットボール、環境イベント Green Festival</p> <p>○GET Plus Dialog：下校中の会話、動物園での会話、縁日のお店での会話、落とし物についての会話、昨日のできごとについての会話、依頼する会話</p> <p>○Take Action! Listen：お店の商品紹介、競技会場のアナウンス、ラジオニュース、留守番電話のメッセージ、インタビュー動画、天気予報</p> <p>○Take Action! Talk：登校中の会話、放課後の会話、お店での会話(買物)、道案内での会話、昼休みの会話、スポーツ観戦での会話</p>	(3) ② ア (7)(1) イ (7)(1)(ウ)(エ) (オ)

別記 カリキュラム表(1年)

新出単語数(516),年間配当時間(111)

レッスンタイトル ●教材・場面/ □この要のねらい	■文、文構造、文法事項/ △音声/☆語彙	領域					主な活動の内容	主な言語活動の領域					▲言語の使用場面/ ○言語の働き	配当 時間	
		L	R	S や	S 発	W		L	R	S や	S 発	W			
Starter 1 英語の文字と音	□アルファベットや簡単な語句を、開いたり、話したりする						アルファベットや簡単な語句を、開いたり、話したりする	○	○	○	○			1	
Starter 2 コミュニケーションを楽しむ(1)	□簡単な語句や表現を用いて、開いたり、話したりする						月、日、曜日、教育、習いごとについて、開いたり、話したりする	○	○	○	○			1	
Starter 3 コミュニケーションを楽しむ(2)	□簡単な語句や表現を用いて、開いたり、話したりする						1日の生活や町の施設や建物について、開いたり、話したりする	○	○	○	○			1	
Lesson 1 About Me	●新しい友だちや先生との中学校生活	■Part 1 ■I am ... / I play ... (You are ... / You like ...) △音声 子音①(p t k b d g) / [英語の書き方の復習]						開いてみよう・話してみよう 名前や好きなことなどを伝え合う Read 先生のお互いの記事を読んで、その概要を把握する Write 好きなことなどを自己紹介カードに書く	○	○	○	○		▲学校、生活、自己紹介 ○発表する、あいづちを打つ、質問する、説明する	12
□・be動詞(am, are), 一般動詞(1-2人称)	□好きなことや趣味などについて、開いたり、話したり、書いたりして、お互いのことを知る	■Part 2 ■Are you ...? / Do you play ...? △音声 子音②(h) / [英語の書き方の復習]						開いてみよう・話してみよう 好きなスポーツや食べ物などを伝え合う Read 先生への質問とその答えの記事を読んで、その概要を把握する Write 先生に手紙を書いて、質問カードに書く	○	○	○	○			
■Part 3 ■I am not ... / I do not play ... (You are not ... / You do not like ...) △音声 子音③(r i m n) / [英語の書き方の復習]							開いてみよう・話してみよう 趣味や好きなことについて伝え合う Read 先生の趣味を紹介する記事を読んで、その概要を把握する Write テーマを選んで、趣味などを詳しく紹介する英文を書く	○	○	○	○				
Plus 1 どんな食べものが好きですか	□What food ...? の表現を使う	■What food ...? ☆WB 映画、テレビ番組、音楽	[○]										▲地域、生活 / ○質問する、意見を言う	1	
Lesson 2 English Camp	●国際交流イベント、地域の行事	■Part 1 ■I can ... / I cannot ... △音声 カタカナと英語の違い / [英語の書き方の復習]						開いてみよう・話してみよう 好きなことなどについて発表する Read 2人の人物紹介を読んで、その概要を把握する Write 友だちと自分について、できることなどを紹介する英文を書く	○	○	○	○		▲地域、行事、自己紹介 ○発表する、質問する、説明する、依頼する、承諾する	8
□・動詞can	□できることなどについて、開いたり、話したり、書いたりして、お互いの理解を深める	■Part 2 ■Can you ...? △音声 モーラとシラブル / [英語の書き方の復習]						開いてみよう・話してみよう 詳しく自分について、自分に関連させて話す Read 2人がやり取りしたメッセージを読んで、その概要を把握する Write 人物を選んで、その人ができるかどうかを伝える英文を書く	○	○	○	○			
Plus 2 チョウが何匹見えますか	□How many ...? の表現を使う	■How many ...? ☆WB 数、動物	[○]										▲地域、生活 / ○質問する、説明する	1	
Lesson 3 Our New Friend	●インドからの転校生、異文化	■Part 1 ■This is ... / This is not ... △音声 母音①(a) / [英語の書き方の復習]						開いてみよう・話してみよう 人そのものを説明したり、描写したりする Read 友だちが書いた手紙を読んで、その概要を把握する Listen-Speak-Write ものや場所について、開いたり、話したり、書いたりする	○	○	○	○		▲学校、活動 ○報告する、質問する、説明する、描写する、礼を言う	12
□・be動詞(is), what / who, him / her	□町にあるものなどについて、開いたり、話したり、書いたりして、新しい友達と仲良くなる	■Part 2 ■Is this ...? / What is ...? △音声 母音②(e i) / [英語の書き方の復習]						開いてみよう・話してみよう 施設や建物などを紹介したり、描写したりする Read 2人がやり取りしたメッセージを読んで、その概要を把握する Listen-Talk-Write What's this? タイプを、開いたり、話したり、書いたりする	○	○	○	○			
■Part 3 ■I like him [her]. / Who is ...? △音声 母音③(o u) / [英語の書き方の復習]							開いてみよう・話してみよう 人やキャラクターなどを紹介する Read 人物を紹介する新聞記事を読んで、その概要を把握する Listen-Speak-Write 人やキャラクターについて、開いたり、話したり、書いたりする	○	○	○	○				
Listen 1 商品の説明	□必要な情報を聞き取る	△Sounds e r g					Listen [説明] お店の商品説明を聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る	○					▲社会、生活 ○説明する	1	
Talk 1 ねえ、聞いて!	□即興で伝え合う	△Sounds 二番目に強い強勢を持つ語					Talk [チャット] 自分や相手の持ち物について対話する						▲学校、生活 / ○会話をはめる、あいづちを打つ	1	
文法のまとめ 3 be動詞 is, 命令文 など														1	
Information 1 文具店のチラシ	□必要な情報を読み取る						文具店のチラシを読んで、自分が必要とする情報を読み取る		○					1	
Project 1 理想のロボットを発表しよう	□理想のロボットについて、気持ちや考えを整理し、まとまりのある内容を話す						理想のロボットができることなどを考え、原稿を書いて発表する			○	○	○		2	
Lesson 4 My Family, My Hometown	●イギリス、家族、ホームタウン	■GET 1 Miki plays ...						USE Read [説明文] イギリスの都市について書かれた紹介記事を読んで、その概要を把握する						▲学校、生活 ○説明する、質問する、描写する、意見を言う	8
□・3人称単数現在形	□説明文: 概要をとらえる	■GET 2 Does Miki play ...? / Miki does not play ...						USE Write [申込書] / USE Speak [スピーチ] イベントの申込書に正確に記入する / サイコロを使って即興で人物紹介をする							
Listen 2 競技会場のアナウンス	□要点をとらえる	△Sounds 3人称単数現在形(s, es)					Listen [アナウンス] 競技会場のアナウンスを聞いて、話しが伝えたいことを聞き取る	○					▲社会、生活 ○説明する	1	
Talk 2 またあとでね	□即興で伝え合う	△Sounds 強調リズム					Talk [チャット] 放課後の予定について対話する						▲学校、生活 / ○会話を終える、あいづちを打つ	1	
Plus 3 どちらがほしいですか	□Which ...? の表現を使う	■Which ...? ☆WB 食べ物や飲み物に関することば	[○]										▲地域、生活 / ○質問する、意見を言う	1	
文法のまとめ 4 3人称単数現在形 など														1	
Lesson 5 School Life in the U.S.A.	●アメリカの中学校と中学生の生活	■GET 1 Tom is studying ...						USE Read [説明文] アメリカの友だちから送られてきたメールを読んで、その概要を把握する						▲学校、生活、電子メール ○描写する、質問する、説明する、依頼する	8
□・現在進行形	□説明文: 概要をとらえる	■GET 2 Is Tom studying ...?						USE Write [メール] アメリカの友だちに、日本の学校生活や行事を紹介するメールを書く							
Listen 3 映画の紹介	□概要をとらえる	△Sounds マジックe					Listen [説明] 映画の紹介を聞いて、話の全体的な内容を聞き取る	○					▲家庭、生活 ○説明する	1	
Talk 3 面白い映画はありますか	□即興で伝え合う	△Sounds イントネーション(文末)					Listen [買い物] 買い物に訪れたお店で店員と対話する						▲社会、生活、買い物 / ○提案する、好みを伝える	1	
Plus 4 これはだれの履ですか	□Whose ...? の表現を使う	■Whose ...? ☆WB 所有代名詞、身近なもの	[○]										▲学校、生活 / ○質問する、説明する	1	
文法のまとめ 5 現在進行形 など														1	
Lesson 6 Discover Japan	●日本の伝統文化、旅行	■GET 1 Amy enjoyed ... / Amy went ...						USE Read [物語文] 日本を旅行した感想などが書かれたブログ記事を読んで、その概要を把握する						▲学校、生活、旅行 ○説明する、質問する、礼を言う、意見を言う	8
□・一般動詞の過去形	□物語文: 概要をとらえる	■GET 2 Did Amy enjoy ...? / Amy did not enjoy ...						USE Write [絵日記] 今年一番思い出に残ったことについて、具体的に絵日記を書く							
Listen 4 ポイスメッセージ	□必要な情報を読み取る	△Sounds 動詞の過去形(ed, d)					Listen [メッセージ] ポイスメッセージを聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る	○					▲家庭、生活 ○説明する	1	
Talk 4 ABCキーはどこですか	□事実や考えを整理して伝え合う	△Sounds イントネーション(選択・列挙)					Talk [道案内] 道にいる海外からの旅行者に道案内をする						▲社会、生活、道案内 / ○道順をたずねる、道順を説明する	1	
文法のまとめ 6 一般動詞の過去形 など														1	
Information 2 観光マップ	□必要な情報を読み取る						観光マップを読んで、自分が必要とする情報を読み取る		○					1	
Project 2 英語のタウンガイドを作る	□町や地域について、事実や考えを整理し、まとまりのある文章を書く						町や地域のおすすめの場所などを調べて、その魅力などを紹介するタウンガイドを作る					○		2	
Lesson 7 Wheelchair Basketball	●車いすバスケットボール	■GET 1 My father was ... / My parents were ...						USE Read [物語文] 車いすバスケットボール選手が書いた自伝の記事を読んで、その概要を把握する						▲地域、行事、電話 ○報告する、意見を言う、謝る、質問する、説明する	8
□・be動詞の過去形、過去進行形	□物語文: 概要をとらえる	■GET 2 I was watching ...						USE Speak [スピーチ] 好きな偉人や憧れの偉人について、その理由などを加えて発表する							
Listen 5 インタビュー	□要点をとらえる	△Sounds 重なりつた子音の前の母音					Listen [ニュース] インタビューを聞いて、話しが伝えたいことを聞き取る	○					▲家庭、生活 ○説明する	1	
Talk 5 どんな映画が好きなの?	□即興で伝え合う	△Sounds トーンユニット①					Talk [チャット] 好きな映画などについて対話する						▲学校、生活 / ○質問する、情報を付け加える	1	
Plus 5 うれしそうですね	□You look ... の表現を使う	■You look ... ☆WB 状態や気持ちを表すことば	[○]										▲学校、生活 / ○説明する	1	
文法のまとめ 7 be動詞の過去形、過去進行形 など														1	
Lesson 8 Green Festival	●自然、環境保護	■GET 1 It will be ... / Will it be ...? / It will not be ...						USE Read [説明文] 環境イベントで配布されたパンフレットの文章を読んで、その概要を把握する						▲地域、行事 ○説明する、命令する、誘う、質問する、あいづちを打つ、報告する	8
□・未来を表す表現(will, be going to ...)	□説明文: 概要をとらえる	■GET 2 I am going to ... / Are you going to ...?						USE Write [マニフェスト] 環境を守るためにできることを考え、具体例を示しながらマニフェストを書く							
Listen 6 天気予報	□必要な情報を読み取る	△Sounds あいまい母音					Listen [天気予報] 天気予報を聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る	○					▲家庭、生活 ○説明する	1	
Talk 6 もう一度言って	□即興で伝え合う	△Sounds トーンユニット②					Talk [チャット] 人物の描写をしながら対話する						▲学校、生活 / ○描写する、聞き直す	1	
Plus 6 ベットを整えてくれませんか	□Can you ...? の表現を使う	■Can you ...? ☆WB いろいろな動作	[○]										▲家庭、生活 / ○依頼する、承諾する、謝る	1	
文法のまとめ 8 未来を表す表現(will, be going to ...)														1	
Project 3 大切なものを紹介しよう	□大切なものについて、気持ちや考えを整理し、まとまりのある内容を話す						大切にしているものの写真や絵を見せながら、手に入れた経緯や大切にしている理由を加えて発表する					○		2	
Fun Alice and Humpty Dumpty	□物語文を楽しむ						[物語文] アリスの物語を楽しむながら読む					○		2	

Plus: GET Plus / Listen: Take Action! Listen / Talk: Take Action! Talk / Information: Reading for Information / Fun: Reading for Fun / WB: Word Bank